

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第1学年:50時間】

探究課題(例): まちの食や景観、環境等の特徴とそれを生かした地域活性化に取り組む人々の創意工夫

単元のねらい: 自分たちの住む地域の食や景観、環境等についての探究的な学習を通して、地域の資源を生かしてその活性化に関わる人々の思いや願いを理解するとともに、地域活性化のために自分たちができることについて必要な情報を収集したり、実現可能で持続可能な取組になるように、他地域の取組と比較したり、アイデアを焦点化したりして考え、地域の取組に興味をもち進んで関わろうとする態度を育てる。

単元のめあて: ○○市(町、村)の魅力を調べて紹介しよう

【小単元1のめあて】自分たちの住む地域(市町村)にはどのような「魅力」があるのか?

単元全体を通した課題を設定する

【全体課題】自分たちの町の「魅力」を紹介しよう!

小単元1 10h

【導入】
他地域の生徒との交流から、「自分たちの町の見所は何か」ということについて課題意識をもつ。
姉妹校との交流

【情報の収集】
・「○○市の見所」について、各自がもっている知識を出し合い、共有する。(ウェビングマップ)
・さまざまな視点から出し合う(自然、食、環境など)

【情報の収集】
・他地域に誇ることができないものはないかという視点で情報を収集する。
・観光協会
・地域活性化を進める団体 など

【整理分析】
・収集した情報や体験活動を通して分かったことを、視点を決めて分類・整理する。
・視点ごとに分類する

【まとめ・表現】
・視点ごとに分類した地域の「魅力」についてまとめる。(カード、Xチャート等)
・収集した情報は蓄積しておく。

【振り返り】
・自分たちの住んでいる地域には、さまざまな「魅力」があることがわかった。交流している地域にはない、独自のものもあるので、その魅力や関わる人々の思い等をさらに調べて紹介したい。

【小単元2のめあて】自分たちが調べた「魅力」について、実際に体験したり、関わっている人々から話を聞いたりして、さらに詳しく調べよう。

小単元2 25h

【課題の設定】
・調べた「魅力」について、関わっている人々から話を聞こう。
・調べたい内容を焦点化する。

【情報の収集】
・焦点化した内容について、実際に関わっている人々の話を聞いたり、体験活動を行ったりする。
・地域活性化に関わる人々の思いや願いも尋ねる。

【整理分析】
・体験活動やGTの話を整理する。
・紹介したい相手に応じた内容を、焦点化して決める。(ランキング、ピラミッドチャート)

【まとめ・表現】
・これまでに調べてきた内容ごとにグループを編成し、「魅力」を紹介する作品を完成させる。
国語科・外国語科との関連

【整理・分析】
・互いの作品を見合い、内容や表現について意見交換する。(PSシート)
・他グループからの意見を踏まえ、作品を修正する。

【振り返り】
・体験活動をしたり、グループのみんなで話し合ったりして、伝えたい内容が決まった。交流会には他地域の生徒やGTなどにも、私たちの町の「魅力」についてしっかり紹介したい。

【小単元3のめあて】発信！私たちのまちの「魅力」

小単元3 15h

【課題の設定】
・交流会を成功させるための内容と準備はどのようにすればよいか。

【情報収集】
・交流会の内容についてアイデアを出し合う。
・アイデアを実現するための準備について調べる。

【整理分析】
・それぞれのアイデアを、「具体的に伝わるか」「参加者が楽しめるか」等の視点を定めて比較する。(マトリックス、座標軸等)

準備

【まとめ・表現】
・小単元2で作成した作品に加え、新たなアイデアを生かした交流会を開催する。
・参加者、GTからの意見をもらう。

【振り返り】
・交流会を成功させることができよかった。自分たちの町の「魅力」にも詳しくなることができた。

【単元の振り返り】(期待する姿)
・1年間学習してきて、自分たちの町の「魅力」がよくわかった。自分たちの町の「魅力」と、地域の活性化のために活動している人たちのことがつながっていることもわかった。今まであまり意識していなかった地域のイベントも、町の「魅力」を生かした取組だということがわかったので、これからは積極的に参加していきたい。 など

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第2学年:70時間】

探究課題(例): 世界農業遺産の価値や特徴と、その継承と発展に向けて取り組む組織や人々の思いや願い、創意工夫と、それを実現しようとする意義

単元のねらい: 地域の自然や伝統文化、農業及び林業、景観等についての探究的な学習を通して、地域が抱える現状と課題を明らかにし、課題の解決に向けて主体的に情報を収集したり、見出した事実や関係を比較したり因果関係を推論したりして考えたりして、地域と自分とのかかわりを理解するとともに積極的に活動しようとする態度を育てる。

単元のめあて: 世界農業遺産の継承と発展に向けた取組を考え、実行・発信しよう

小単元1 20h

【小単元1のめあて】世界農業遺産の現状と課題を整理しよう

<p>【単元のめあて】 世界農業遺産に関わる人々との交流や体験活動等を通して、地域の現状と課題を明らかにする。 く私たちが暮らす地域の現状と課題は何か></p>	<p>【情報収集】 ・農業、林業、生物、景観、伝統文化等に関わる人々の講話から、現状を知る。 ・見学や体験活動等から、さらに現状と課題、よさについての情報を収集する。</p>	<p>【整理分析】 ・GTの講話や体験活動等について、マトリックスやYチャート等で視点を決めて整理する。(現状、よさ、課題) ・どのような情報がどの程度集まっているか確認する。</p>	<p>【まとめ・表現】 ・GTの講話や体験活動等をまとめる。 ・整理分析したことから、解決すべき課題を明らかにする。</p>	<p>【振り返り】 ・世界農業遺産に指定されているが、実際は課題も多いことが分かった。世界農業遺産の継続に向けた活動を考えていきたい。</p>	<p>【単元を通した課題】 ・集落人口、農林水産業の就業人口の減少 ・高齢化の進行 ・生物多様性の減少 ・耕作放棄地の増加 ・後継者の不足 等</p>
---	---	--	--	---	---

小単元2 30h

【小単元2のめあて】小単元1で明らかになった現状と課題についての解決策・アイデアを考えよう

<p>【課題の設定】 ・小単元1で設定した課題ごとにグループを編成し、解決に向けた計画を立てる。</p>	<p>【情報の収集】 ・小単元1の終末で設定した課題についての情報を収集する。(関係課、関係者等)</p>	<p>【整理分析】 ・収集した情報を、「重要」「緊急度が高い」等の視点を決めて分析し、今後の取組の方向性を考える。</p>	<p>【まとめ・表現】 ・それぞれの課題についての解決策や取組のアイデアをまとめ、関係課・関係者にプレゼンする。</p>	<p>【整理・分析】 ・関係課、関係者からの意見を踏まえ、自分たちの計画を再度見直す。</p>	<p>【振り返り】 ・課題についての解決策を自分たちで考えてみたけど、「実現可能か」「緊急度が高いか」などの視点で考えることが大切だと分かった。次はアイデアを実行することになるので、積極的に取り組んでいきたい。</p>
--	---	---	--	---	---

小単元3 20h

【小単元3のめあて】自分たちが考えた解決策・アイデアを実行し、経過や成果などをまとめて発信しよう

<p>【課題の設定】 ・自分たちが考えた解決策、アイデアを実行するために必要なことは何か</p>	<p>【情報収集】 ・関係課、関係者と連携して解決に向けたアイデアを収集しまとめる。</p>	<p>実行①</p>	<p>【整理分析】 ・実際に活動してみた際の成果と課題を分析し、2回目の計画を考える。</p>	<p>実行②</p>	<p>【整理分析】 ・これまでに考えたり取り組んできたりしたことの成果と課題を明確にし、発信する内容と方法を考える。(相手意識・目的意識)</p>	<p>【まとめ・表現】 ・これまでに考えたり取り組んできたりしたことをまとめて発信する。(中学生サミット) ・近隣の学校等で合同発表会を行う。</p>
--	--	-------------------	---	-------------------	---	---

国語科との関連

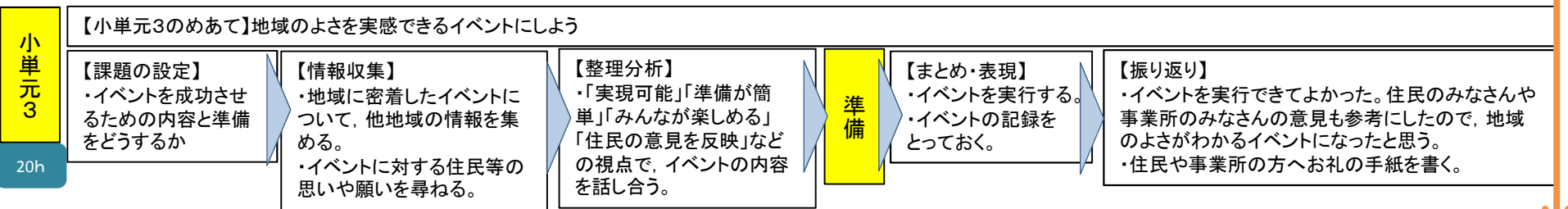
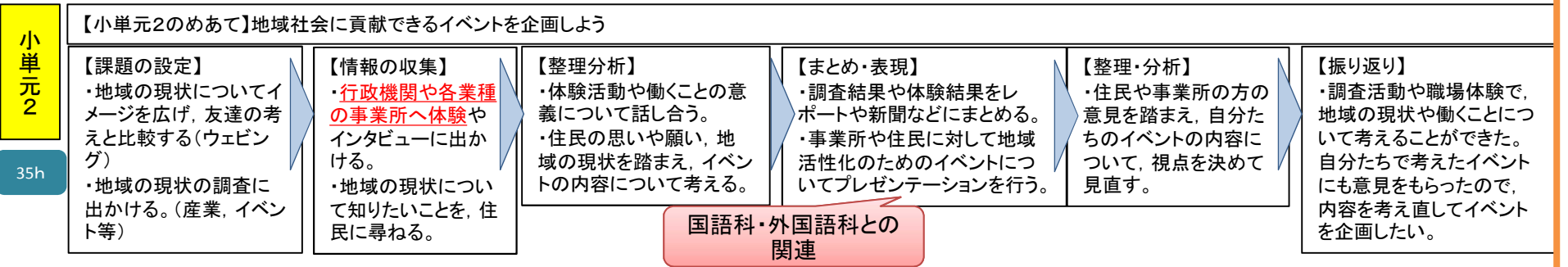
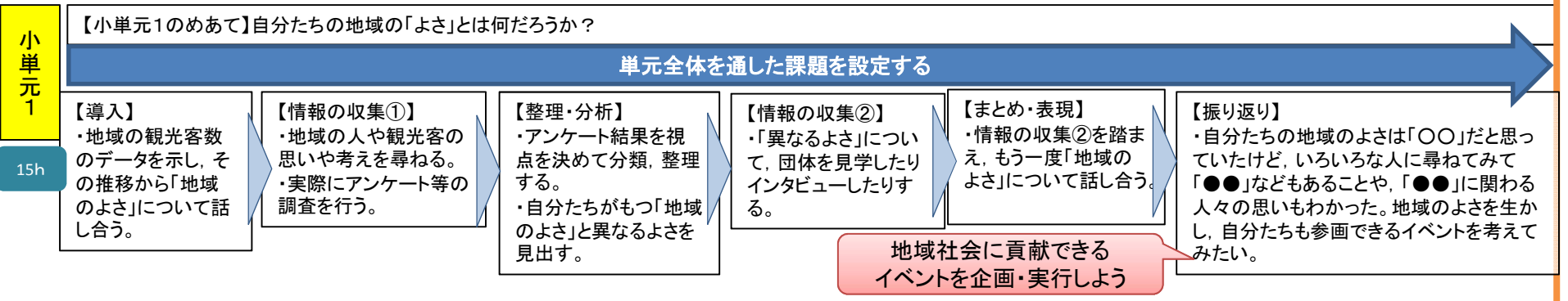
【単元の振り返り】(期待する姿)
・1年間学習してきて、自分たちの地域のすばらしさや課題がはっきり分かった。課題についての解決策やアイデアを考え実行したり提案したりしてきたことが、実現されるともつうれしい。「千年先まで伝えたい」キャッチコピーが叶えられるように、これからも地域の活動に進んで参加していきたいし、小さいことでも、自分にできることを実行していきたい。 など

中学校総合的な学習の時間の単元計画(例)【第3学年:70時間】

単元のめあて: 地域のまちづくりや活性化に取り組む人々の創意工夫と、働くことの意味や願い

単元のねらい: 自分たちの住む地域のまちづくりや地域活性化に取り組んでいる人々、地域で働く人々の願い、働くことの意味についての探究的な学習を通して、地域の人・もの・ことと自分たちとの関わりや地域の特徴を理解し、地域の現状から問題を見出し、その解決に向けて必要な情報を収集し、目的に応じて比較・分類・関連付け・焦点化して考える力や相手や目的に応じてまとめ表現する力を身に付けるとともに、地域のためにできることを考え行動しようとする態度を育てる。

単元のめあて: 地域の活性化につながるイベントを企画して実行しよう



【単元の振り返り】(期待される姿)
・自分たちの地域のよさや現状が分かった。そこで暮らしている住民や地域の活性化につながる活動をしている事業所の方との交流を通して、地域を大切にすることや自分たちから積極的に関わっていくことの大切さが分かった。1年間地域のことや職業のことについて学んだことで、地域と自分とのつながりや、これからの自分の将来について考えることができた。 など